

# 大分労働局における「外国人雇用状況」の届出状況【概要版】 (平成29年10月末現在)

## 1 外国人労働者の状況

### 労働者全体の状況について(P1)

・大分県内の外国人労働者数は5,458人。前年同期比で769人(16.4%)増加し、5年連続での増加となった。

#### 【増加した要因】

・「技能実習」の在留資格の外国人労働者が増加していることに加え、政府が進めている高度外国人材の受入、雇用情勢の改善が着実に進んでいることが考えられる。

#### ○ 国籍別の状況(P2)

- ・中国 1,436人(全体の26.3%) [前年同期比11.7%減少]
- ・ベトナム 1,429人(同26.2%) [同76.6%増加]
- ・フィリピン 799人(同14.6%) [同 0.2%減少]
- ・インドネシア 310人(同5.7%) [同17.0%増加]
- ・韓国 239人(同4.4%) [同26.5%増加]
- ・ネパール 222人(同3.3%) [同45.1%増加]

特に、ベトナムは前年同期比で620人(76.6%)の増と、大幅な増加となっている。

#### ○ 在留資格別の状況(P2、3)

- ・技能実習 2,624人(全体の48.1%) [前年同期比 12.8%増加]
- ・資格外活動(留学) 1,434人(同26.3%) [同 43.4%増加]
- ・身分に基づく在留資格 718人(同13.2%) [同 2.4%減少]
- ・専門的・技術的分野 554人(同10.2%) [同 8.4%増加]

## 2 事業所の状況

### 事業所全体の状況について(P1)

- ・ 外国人を雇用している事業所は1,023か所。  
前年同期比で12か所(1.2%)増加し、増加は5年連続となった。

#### ○ 事業所規模別の状況(P5)

- ・ 「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の63.0%、外国人労働者全体の36.2%を占めている。

## 3 産業別の状況

### 産業別の状況について(P4~6)

- ・ 外国人労働者、外国人労働者を雇用する事業所ともに、製造業が最も多い。
- ・ 製造業は外国人労働者を雇用する事業所全体の22.6%、外国人労働者数全体の34.0%を占める。
- ・ 製造業の構成比は前年度に比べ減少。

## 4 派遣・請負の状況

### 派遣・請負の状況について(P1)

- ・ 外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数
  - ・ 53か所(事業所全体の5.2%)
  - ・ 前年同期比で16か所(23.2%)減少。
- ・ 労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数
  - ・ 452人(外国人労働者全体の8.3%)
  - ・ 前年同期比で56人(14.1%)増加。